

成果指標				
成果指標	保健センター利用回数及び人数			
指標設定の考え方	利用回数及び人数を成果指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	12000/1250	23000/1700	25000/1900	0
実績	22684/1620	22459/1753	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	開設以降、健康づくりの拠点として、第2次伊予市健康づくり計画の推進と合わせて、周知に努めてきたが、総合保健福祉センター内や関係課と連携のもと、今後さらに健康なまちづくりに向けて、取組んでいく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	開設して3年が経過し、健康づくりの拠点として定着してきているが、さらに、自主的な健康づくりの活動の充実と活性化が必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題